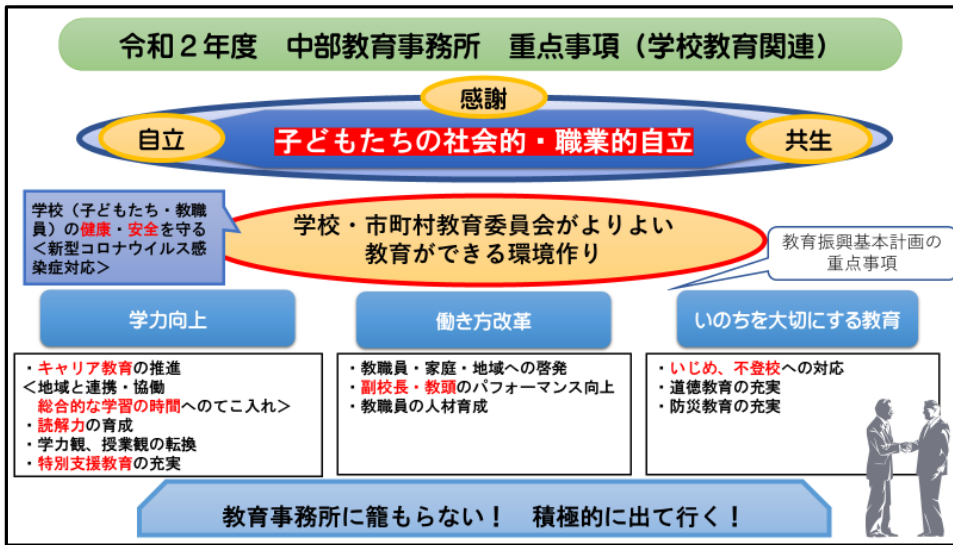


令和2年度 業務推進にあたっての重点事項について

新型コロナウイルス感染症対策のために、管内教育長会、校長会は中止となりましたが、4月下旬までには市町村教育委員会や学校に各種資料が配付されていることと思います。その資料の中には、中部教育事務所としてのこれからの取組や支援体制等について説明させていただいております。

本年度は、3つの重点事項を基軸に、「学校・市町村教育委員会がよりよい教育ができる環境作り」を目指し、支援体制の強化に努めてまいりたいと考えております。御協力のほど、よろしくお願ひいたします。



ポイント1

学校教育の軸に、キャリア教育を据えるべきだと考えます。「自立」のために、「こうしたいと思い、今を頑張れる子ども」「社会に出てから頑張れる子ども」「失敗したり倒れたりしても立ち上がる子ども」を育成することが大切です。

ポイント2

本県の子どもたちは「テキストを速く正確に読むこと」に課題があります。●**読解力**は国語科のみならず、すべての教科等で育成するものです。日常生活の中で、新聞を読んだり、初見のテキストに触れたり、自らが獲得したものを、総合的な学習の時間に生かしたりするような意図的な取組が大切です。

ポイント3

学校には、特別支援教育や生徒指導など、学力向上のほかにも多様な課題が存在します。改善に向けてのプロセスとして、学校の課題を適切にとらえ、見通しをもち、組織的な対応を継続することが大切です。中部教育事務所は、サポートの要請があれば、そのニーズに応えられるように積極的に市町村教育委員会や学校に出向きます。

緊急事態宣言に伴う臨時休業が続いており、各学校では、児童・生徒への家庭学習の支援に苦慮されているのではないのでしょうか。既習・予習内容のプリントの配付や、教科書の問題の指定を通して、学習習慣を確実なものにしていくことは大切なことです。**それに加え、例えば日記を書いたり、新聞記事やネットニュースを要約したり、自分の思いや考えを文章や詩などにまとめたりする積み重ね**にもチャレンジさせてみてください。

取組をさらに広げるために……

中部教育事務所管内の重点支援校10校が指定されました。「**4+4のチェックポイント**」を意識しながら授業改善につなげていきます



地区	数	学校名
宮崎	2	高岡中、八代中
南那珂	2	桜ヶ丘小、福島小
児湯	6	高鍋東中、富田小、西米良中、木城中、川南小、都農南小

市町村教育委員会と教育事務所の支援チームが、支援校訪問において、授業改善と指導力向上を目指し、授業参観とフィードバックを行います。支援校訪問の間の期間(つなぎの期間)には、校内におけるOJTの機能を生かしながら、フィードバックで確認した課題を改善するための取組を継続していきます。OJTの機能を生かした組織的な取組が今後は更に求められます。その取組を各学校に広げていくためにも、多くの教職員の方に重点支援校訪問の授業の様子を参観していただければと思います。希望される場合は、市町村教育委員会にお知らせください。